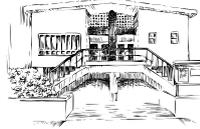


日本聖公会

大阪教区報



日本聖公会
大阪教区総務局
〒545-0053
大阪市阿倍野区
松崎町2-1-8
TEL 06-6621-2179
FAX 06-6621-3097
発行責任者
総務局長 司祭 内田 望

+++++ 第498号 2022年5月20日発行 +++++

草木の如く

司祭 ペテロ 金山将司

最近、教会の花壇には黄色いクローバのようなお花やカラスノエンドウ、青々とした水仙、ネギ坊主、エルサレムの神殿に投げられた硬貨のように色鮮やかな小菊が咲いて、命

があふれる季節になったな、と感じています。ほんの一年でこの小さな花壇を生命に溢れ、美しく変えてしまう草木の命、力というのは、その小さな姿から、神様のお力の偉大さを感じさせてくれます。このような美しさや生命の喜びを見ると、私達人間に神様が「このように生きなさい」と言われているのではないかなと思えるのです。

さて教会のお庭もそうです。このように美しく育つ草花は当たり前ですが、一つも前と同じものはありません。一年一年新しい樹皮、花、葉をつけて毎年新しくされていきます。その「時」に応じ、青々と、または枯れていく様子を、私は花や草木が、神様を受け入れ、その力に従順であるように感じます。そ

こには神様の創造されたものとしてのあり方が見え、私達の生き方にも当てはめていかねばならぬと感じたのです。私達人間というのは、美しい芸術を生み出し、神様の目に叶う、よき行い、従順がある一方で、神様に逆らい、美しい命や自然を破壊する、調和ではなく分裂を招くような行いをしばしば行ってしまう

ます。それは戦争や、自然破壊がわかりやすい例ですが、複雑な社会や教会の中においてもこのような行いは現れてくることです。私達は草木ができる「神様に素直に生きる」ということすらできない、そのことは私達にとって神様のみ前で恥ずかしく感じます。しかしそれに蓋をし、見ないようにしてしまうようなことをしてはなりません。むしろ大きな声でそれを叫び、神様に打ち明け、光と雨に晒すこと、それがキリストにあつて素直に生きる大切なことなのです。

私たちが新たに進むには苦しみも喜びも神様に晒し、温かい神様の光に当たって、また厳しい雨にあたって成長する必要があります。そうして伸ばされ、成長をしていくなかで、力強い青々しさや美しい紅葉を手にいれ、私たちはキリストに従う喜び、成長の喜び、結実の喜びを味わうことができます。そしてそれは、私たちの喜び、満足ではなく、新たな世代へキリストの収穫を伝える力となるのではないかと思うのです。

昨今の教会は、まだまだ先の収穫から芽がなかなか出ないように感じます。そのようなときは、ネガティブなことを言っちゃいけない、

僅かなポジティブなことを必死で探そうとする、そういう雰囲気になってしまいます。しかし私はそんなときこそ大いに語り合い、そしてその苦しさを分かち合うことが大切であると感じるのです。私たちは負の物事を、心を押し殺してはいけません。すべて神様に捧げましょう。そうしてでてきたネガティブな意見が、じつは神様によって、成長の肥料、光、雨に変えられる可能性があるのです。私たちがこれからの信仰をぜひ、神様の光に、雨に晒して、成長してまいりたいと思います。

(恵我之荘聖マタイ教会牧師)



ウイリアムス神学館2022年度入学礼拝に出席して

ミリアム 岡部 美枝

去る4月6日(水)ウイリアムス神学館入学礼拝(聖餐式+入学式)が行われました。

車窓からの満開の桜をめでつつ、京都教区主教座聖堂アグネス教会へ着きました。

今年、大阪教区から薦田久美子さんと科目履修生として大倉有紀さんが入学されま

した。参加者は大阪教区関係者が多い中、篤い祈りと厳かな雰囲気の中、黒田館長の説教は、福音書を引用されながら、3年間の学びが豊かでありますようにと。そして祝会の中では、来る4月23日に北海道教区主教に笹森田鶴師が

挨拶・就任されますが、日本聖公会では勿論の事、東アジアで初めての女性主教が選ばれた喜び、そして女性の神学生が多く与えられ学ばれます事に、協力は惜しまないと力強くお話しくださいました。



礼拝の中では、久しぶりに聖歌全曲とアンセムを歌い、聖餐式では、希望者は二種陪餐

(インテンクション)が許され、お恵み豊かな礼拝を守る事が出来ました。

礼拝後は、京都教区センターに於いて、3年ぶりに新生歓迎会・祝会が開かれ、多くの方々からお祝いや励ましの言葉があり、喜びと感謝のひと時でした。

その後、昭和初期のかつて主教邸であった趣き深い神学館木造校舎の食堂・自習室・宿泊棟を見学させて頂きました。

教区事務所、教区センターが入っている旧パレスサイドホテルは、この5月に解体が始められるとの事です。

昔、宿泊者だけに許された、屋上から眺める大文字焼き見学を、家族で楽しんだことを懐かしく思い出しながら帰路に着きました。

(大阪聖パウロ教会信徒)



新入学 神学生へ挨拶

向こう岸へ渡ろう

ヴェロニカ 薦田 久美子

主の平和がありますように。皆さまのお祈りとご支援を頂いて、4月6日にウイリアムス神学館に入学しました。ありがとうございます。

聖職志願を決心するまでには、とても長い時間がかかりました。

ある日聖書を読んでいて、イエスさまが弟子たちに仰った、「向こう岸へ渡ろう」というみ言葉に再び出会いました。その意味を味わう中で、ウイリアムス(神学館)へ行きなさい。」と仰っているように感じられたのも、志願した理由の一つです。

ウイリアムスでの生活は、日に3度の礼拝を守り、食事は皆で一緒にいただき、勉強はかなりハードです。一年生は土日に研修先の

教会(私は京都下鴨基督教会)で学ばせて頂きます。バイコンという聖書内容試験が毎週あるのですが、とても難しく苦労しています。けれども、館長や優しく個性豊かな先輩方に色々教えて頂きながら、少しずつ慣れてきています。

館長が「ある意味ここは修道院だからねー。」と仰るのを聞き、先程のみ言葉を思い出しました。不要なものほそぎ落とし、正しいことを身にまとうことができるように、そして皆さまの期待を裏切らないように学びたいと思います。(ウイリアムス神学館)



入学のご挨拶

ステラミシエル

大倉 有紀

今年度、大阪教区神学生として認可をいただきました大倉有紀と申します。

聖公会に転会してから途中様々な人生のイベントがありました。それらを思い出しながら、こうして2022年度のウイリアムス神学館の入学式に出席することが叶い、大きな喜びとお支えくださった皆様への感謝で一杯です。

私が初めに献身したいと願ったのは10代の頃でした。まだ今ほど教会の事も神学のこととも分かっていませんでしたが、情熱と燃え上がるような信仰を心に抱いていたことを思い出します。関西学院神学部に入學し、修士課程を終えた後、日本基督教団で牧師として5年間仕えました。その後、別の教会の副牧師になると同時に桃山学院中高の宗教科の教員になり、聖公会に転会して現在に至ります。

前教団の教籍を手放すことは、私にとって非常に大きな決断でした。今までのキャリア

アも牧師としての未来も無くなる気がして、数年間大変悩みましたが、最後は「聖公会の信徒として残りの人生を送りたい」という思いで決めました。

しかし、あの時の決断によって今こうして新たな道が開かれたのは、本当に神様の導きであると感じています。私が手放したつもりでいた献身の心が、心の奥底にわずかに残っているのを神様は知っていて、それをもう一度を優しく拾い上げてくれたのかもかもしれません。

今、私は最初に献身を志したあの時の「燃え上がるような信仰」とは違い、穏やかで温かい信仰が自分を満たしていると感じています。その思いを胸に、神様と教会への感



謝を忘れずに、しっかりと学んでいきたいと思っています。どうぞよろしくお願ひ致します。

(ウイリアムス神学館)

ウクライナをおぼえて

平和の祈り

司祭 小林 聡

英国聖公会両大主教からウクライナの平和を祈ることへの呼びかけが届いたのは大齋始日の前でした。世界は今、

平和を祈り、どのような平和を作り出していけるのかを模索し続けています。

大阪教区では3月20日の臨時教区会の折、平和の祈りをしました。磯崎久主教の平和メッセージを心に留め、「神様のとりなしにすべてをゆだねて、ご一緒に平和の祈りをささげましょう」との呼びかけに応え、それぞれの教会で4月3日大齋節第5主日にウクライナにおける平和を祈り、信施をウクライナのためにお献げすることとなりました。その日の信施は4月20日付けで、9教会から245,981円が献げられ、聖公会

の宣教団体USPG（英国聖公会福音宣教協会）に送金され、人道支援に用いられます。

大阪教区では、ウイルソン司祭がウクライナにルーツを持つ方で、4月13日聖水曜日

の平和の祈りの集い（ズーム）で平和メッセージをしてくださいました。身近な隣人を通して私たちは平和を祈り、隣人と出会っていくという平和の道を知らされているように思います。すべての難民となつていらっしゃる方々と、この日本でも共に生きることでできる社会の創造のために、祈りと実践をもつて主に仕えていきたいと願います。

(聖贖主教会牧師)

お知らせ

- 富田林聖アグネス教会 電話・ファクシミリ番号変更になります。
- 定住者がいないため、富田林聖アグネス教会の電話番号を廃止し、同教会信徒の山本勝彦・武子宅の電話番号・ファクシミリ番号(0721-93-4161)で代行することになりました。

第14回ペンテコステ ヴイジル（聖霊降臨日前夕の祈り）

日時 — 6月4日（土）午後5時から
 場所 — 大阪聖パウロ教会
 説教 — トレス・フリオ神父（カトリッククラレチアン宣教会東アジア管区日本代表）
 ※教会の誕生日である聖霊降臨日の前夕、超教派が共に集まり「神の民の一致」をお祈りする礼拝です。

宗 教 法 人 日 本 聖 公 会 大 阪 教 区

2-1-8 MATSUZAKI-CHO
ABENO-KU, OSAKA
545-0053, JAPAN
TEL. (06)6621-2179
FAX. (06)6621-3097**The Diocese of Osaka**
NIPPON SEI KO KAI
(THE ANGLICAN-EPISCOPAL CHURCH IN JAPAN)〒545-0053
大阪市阿倍野区松崎町
2丁目1-8
電話 (06)6621-2179
Fax. (06)6621-3097**公 示**教主降生2022年3月1日
日本聖公会大阪教区 教区主教
主教 アンデレ 磯 晴久

下記のとおり、人事を発令します。

司祭 ジョージ 林 正樹

3月31日付 大阪聖ヨハネ教会牧師の任を解き、定年により退職とする。

4月1日付 主教アンデレ磯晴久のもと大阪聖ヨハネ教会囑託(定住)を委嘱する。
ただし、法規53条第2項に基づき、任期は1年とする。

主教 アンデレ 磯 晴久

4月1日付 大阪聖ヨハネ教会管理牧師に任命する。

司祭 ペテロ 金山 将司

4月1日付 川口基督教会勤務を命じる(週2日)。

4月1日付 プール学院チャプレン補に任命する。(週2回)
任期は1年とする。

司祭 ヤコブ 松平 功

4月1日付 桃山学院教育大学チャプレンに任命する。
任期は1年とする。

執事 ウィリアム ヒューム ユーワン

4月1日付 桃山学院教育大学チャプレン補に任命する。
任期は1年とする。

主教 サムエル 大西 修(退)

4月1日付 中部教区からの要請を受け、中部教区内各教会において主日礼拝等への協力を許可する。
ただし、法規53条第2項に基づき、任期は1年とする。

司祭 ダニエル 山野上 素充(退)

4月1日付 主教アンデレ磯晴久のもと尼崎聖ステパノ教会囑託を委嘱する。
ただし、法規53条第2項に基づき、任期は1年とする。

司祭 ペテロ 岩城 聰(退)

4月1日付 司祭ジョイ千松清美のもと東豊中聖ミカエル教会囑託、および司祭ヨシユア原田光雄のもと聖ルカ教会囑託、並びに司祭テモテ内田望のもと堺聖テモテ教会囑託を委嘱する。
ただし、法規53条第2項に基づき、任期は1年とする。

司祭 ペテロ 竹林 徑一(退)

4月1日付 司祭ヨハネ古澤秀利のもと聖ガブリエル教会囑託、司祭フランチェスコ成岡宏晃のもと大阪城南キリスト教会囑託を委嘱する。
京都教区からの要請を受け、第4主日京都教区内教会において主日礼拝等への協力を許可する。
ただし、法規53条第2項に基づき、任期は1年とする。

司祭 ペテロ 齊藤 壹(退)

4月1日付 主教アンデレ磯晴久のもと大阪聖三一教会(定住)囑託、司祭ヨハネ古澤秀利のもと聖ガブリエル教会囑託、並びに、博愛社、聖パルナバ病院、こひつじ乳児保育園チャプレンを委嘱する。
ただし、法規53条第2項に基づき、任期は1年とする。

司祭 施洗者ヨハネ 山本 眞(退)

4月1日付 主教アンデレ磯晴久のもと富田林聖アグネス教会、尼崎聖ステパノ教会囑託、および司祭テモテ内田望のもと堺聖テモテ教会囑託を委嘱する。
ただし、法規53条第2項に基づき、任期は1年とする。

司祭 ヨハネ 木村幸夫(退)

4月1日付 主教アンデレ磯晴久のもと尼崎聖ステパノ教会囑託を委嘱する
ただし、法規53条第2項に基づき、任期は1年とする。

司祭 フランチェスコ 成岡 宏晃

4月1日付 プール学院チャプレンに任命する。
任期は3年とする。

司祭 ウィリアムス 竹内 信義(退)

4月1日付 司祭ジョイ千松清美のもと東豊中聖ミカエル教会囑託を委嘱する。
ただし、法規53条第2項に基づき、任期は1年とする。



日本聖公会「原発のない世界を求める週間」(2022/6/5~6/11) 企画

オンラインフォーラム「原発はやめようよ」公開プログラム

日時：2022年6月5日(日) 16:00~18:00

16:00 開会の祈り、映像による被災地紹介

16:30 講演：原発からの命の守り方

～「平和のうちに生存する権利」を手放さないために私たちができること～

講師：森松 明希子 さん

福島県在住中に東日本大震災及び福島原子力惨禍に被災。0歳と3歳の2児を連れて大阪へ国内避難(母子避難)、東日本大震災避難者の会 Thanks & Dream (サンドリ) を主宰。原発被害者訴訟原告団全国連絡会共同代表、原発賠償関西訴訟原告団代表を務める。国内外で講演を続け、災害による被災者・避難者・原発事故被害者の人権について訴える。スイスジュネーブの国連人権理事会にてスピーチ。参議院東日本大震災復興特別委員会に参考人として招聘され、被災当事者として陳述を行う。「黒田裕子賞」受賞。著書に『母子避難、心の軌跡』(かもがわ出版、2013年)、『災害からの命の守り方ー私が避難できたわけー』(文芸社、2021年)など。

参加費：無 料



参加方法：公開プログラム YouTube (ライブ配信) をご視聴ください。

※以下のブログにアクセスしていただき、リンクされている

YouTube (ライブ配信) をご覧ください。

<https://privatebody.blogcms.jp/livedoor/nskkprovince/14324534/login>

ニックネーム： guest

パスワード： genpatsu2022



日本聖公会は、脱原発・反核を大切な宣教課題と位置づけ様々な取り組みを続けてきました。2020年の第65(定期)総会では、「地球環境のために祈る日(6月5日世界環境デー直近の主日)」から始まる1週間を、「原発のない世界を求める週間」とすることを決議しました。原発問題プロジェクトでは「オンラインフォーラム「原発はやめようよ」と題し、6月5日(日)と6月11日(土)の2回にわたるプログラムを企画しています。原子力発電や核に関する課題を共有しながら、教区間のネットワークを構築し、共に脱原発、反核に向けた取り組みを一層活発なものにしたいと考えております。オンラインプログラムということで全期間の参加者は限定させていただきますが、多くのおみなさまにご覧いただけるように、上記の部分公開プログラムといたしましたので、ぜひご参加ください。

主催：日本聖公会正義と平和委員会 原発問題プロジェクト

数字で読み解く JAZZ 理論

本書の構成：第1章 リズム 第2章 ハーモニー
第3章メロディ 第4章 全体の分析
(A4判 296ページ)

送付をご希望の方は、以下の口座にお振込みをよろしくおねがいいたします。

振込先口座 *ゆうちょ銀行
店名：四一八(読み ヨンイチハチ) 店番：418
預金種目：普通預金 口座番号：2940377
口座名：呉光現(オ クアンヒヨーン)

(特定非営利活動法人聖公会生野センター総主事)

件名に、『数字で読み解く JAZZ理論』〇冊希望と記入し、

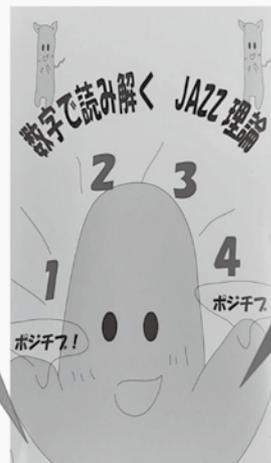
送付先、おなまえ、お電話番号を以下の方法でお教えください。発送に差し支えますので楷書でお願い致します。

- ① メール kurimmodan.buppenn@gmail.com
- ② FAX 06-6224-7869
- ③ 郵便 〒544-0002 大阪市生野区小路3-11-19
NPO 法人聖公会生野センター

☆ ご入金確認後、送付いたします。☆

頒価：3,000円(送料(1冊)370円) 合計 3,370円

JAZZは「会話」だ！
こみゆにけししよん 月



練習方法 もりだくさん

編者：芦田 聡、林 漢彦、赤かよしこ 全体監修：芦田 聡

製作・発行：特定非営利活動法人 聖公会生野センター

※ この本は公益財団法人 促進会の助成を受けて作成致しました。

お問い合わせ先：特定非営利活動法人 聖公会生野センター kurimmodan.buppenn@gmail.com

「主イエスが共におられる」
 北海道教区主教按手・就任式報告
 主教 アンデレ 磯 晴久

2022年4月24日(土)北海道教区主教座聖堂札幌キリスト教会にて、北海道教区主教按手・就任式が執り行われました。マリア・グレイス笹森田鶴被選主教が、第9代北海道教区主教に按手されました。日本聖公会ではじめての女性の主教、さらに東アジアの聖公会で、初めて女性の主教誕生でした。歴史的な礼拝に列席させて頂けたことを、神様に感謝致します。

私が按手式に参加して強く感じたことは、「主イエス・キリストと共におられる」ということでした。笹森田鶴主教は、東北教区の御出身で、父上は故人笹森伸児司祭でした。東

北学院大学を卒業後、キリスト教の学びを深めたいと東京神学大学大学院で学ばれ、東神大学院卒業後、フィリピンへ留学されたそうです。そこで運命的な出会いを経験されます。それは、フィリピンの聖職・ブラザー・シスターが社会の狭間で生きるいと小さな人々に、奉仕する姿でした。彼女らに倣い、彼女は聖職の道を歩みたいと祈り求めるようになりました。そして帰国後、当時所属していた練馬ガブリエル教会牧師五十嵐正司司祭に相談、五十嵐司祭、そして教会の皆さんも大喜びで、彼女の聖職候補生志願に賛成し、笹森姉は聖職への道



フレッシュユで目の覚めるような記事を掲載したい、と教区を眺めておりますと、見えてきますのは今教区で様々な委員会、局が新たな時代へと動き始めているということが実感できます。混迷極める世界情勢、教区の再編など厳し

を歩み始めました。

昨年2021年11月3日に行われた北海道教区第80(臨時)教区会における主教選挙において選出された笹森田鶴師は、大変悩まれました。それは誰しもが同じでした。自分が主教にふさわしいとは到底思えません。私も大変な重圧を感じました。笹森師は、自分が主教職にふさわしい者であるか、大変悩まれました。

五十嵐主教に相談し、ついに植松誠主教に相談するため札幌に来られました。植松主教とどういってお話をされたかはわかりませんが、相談後空港から泣きながら、「到底ふさわしいものとは思えない、いと小さい者ですが、主イエスが選んでくださったことを、深く受け止めます」と、受諾のお返

なつて考えて前進していこうという試みが実現したこと、教区にとって大きな宣教的、信仰的前進であると感じます。私としましてはこれを契機に各教会、地区で議論を深めていかねばならないのではないかと感じます。

また北海道教区に笹森田鶴主教様が按手されたことは大きなニュースです。聖公会全

事をされたそうです。

私は、新主教の司式やご挨拶の言葉、その美しさの中に聖霊の力を感じさせる声に、笹森師の並々ならぬ決意を感じ、大変感動しながら、式に参加しておりました。そして、同時に私は北海道教区の教役者・信徒・求道者の皆様の笹森新主教を待ち望む篤い思いを感じました。

もちろん日本聖公会初めての女性の主教、東アジア初の女性の主教誕生は、すばらしいことですが、私は主イエス・キリストが、神さまと人々に愛されている一人の人、笹森田鶴師をお選びになったということ強く感じました。

女性の聖職について反対の考えがあることに對しても、挨拶の中で、笹森師は、そのことを

体で教区を3つにという再編の動きがあるなか、北海道教区が伝道教区ではなく、主教を選ぶご決断をなさったことは、磯主教様の退職が3年後(2025年3月)に控え、同じく決断を迫られている大阪教区にとって他人事ではありませぬ。これから大阪教区でも盛んに議論されていくことになると思いますが、今年

受け入れて、そうした方々とも一緒に歩んで行くことを語られた。「わたしたちは今、プロセスの中にいるのですから。」私は大変心打たれることばでした。また東日本宣教協働区の今後に関しても、まず北海道教区と東北教区、北関東教区と東京教区が合併への道を模索し、その後、4つの教区の合併を考えてはどうかとの展望を示された。

笹森田鶴新主教と北海道教区の皆様の上に神様の祝福が豊かにありますようにお祈りします。25年間主教としてご奉仕された植松主教(笹森師は、偉業と表現されました。)に、心からの感謝と御礼を申し上げます。主に感謝。

(大阪教区主教)

一年の北海道教区のお働きが私達の道標になるのではないのでしょうか。お祝い申し上げますとともに私達もきちんと今回の北海道教区の按手を胸に留め、考えを巡らせたいたいものです。

広報委員会委員長 金山将司



ハレルヤ！新教会誕生

「豊かさ、広がり、信仰の原点を求めて」

マルコ 早川 俊

2022年3月20日臨時教区会においてトマス・庄内先行合併教会および庄内伝道所設立の承認を得て、4月1日に大阪教区に新教会が誕生し、庄内伝道所が設置されました。

豊中市にある3つの教会（石橋聖トマス教会、庄内キリスト教会、東豊中聖ミカエル教会）は、2011年頃から信徒の高齢化と減少、教役者不足、財政難などの共通問題を認識し、10年間をかけてこれからの教会のあり方を模索してきました。その中で、一人の教役者が3つの教会を管理する状況から脱却し、丁寧な教会や地域との日常的な交流によって、あるべき教会の姿を取り戻す必要が見えてきました。また様々な賜物をもつ信徒が一箇所に集まることで疲弊を回避し、豊かな礼拝と生き生きとした教会生活を実現させることができることも考えました。会計上の健全性という課題は、言うまでもありません。

豊中3教会では、3教会代表者会、合同礼拝、合同教会委員会の開催をはじめ、2018年には同じ礼拝聖歌を選ぶための合同奏楽者会議、2019年からは合同教会学校「らみいクラブ」の開始、コロナ禍においても3教会信徒が共にみ言葉の学びを得られるよう、広報誌「オリブ通信」を毎月発信してきました。この間、各教会では信徒懇談会を開き意見交換にも努めました。2019年度の合同教会委員会は、3教会が合併し新しい教会を目指すための体制作り宣言を共通議案とし、翌年の各堅信受領者総会で承認を受けました。

豊中3教会の合併は3つが同時に行うのが理想でしたが、ミカエルは現在、保育園の社会福祉法人移行プロジェクトに挑戦中であり、宗教法人格を大阪教区に合併させるなどの段階を経なければなりません。この度は、待ったなしの現況改善のため、2教会のみの先行合併を推進し、4

月1日付で新教会が発足しました。

これからは、それぞれの地の必要を一緒に担い、広がりのある北摂の共同体として「人々の必要に仕え」、「み言葉を伝える」という使命に込めたいと思います。また、なじみのある教会の枠を越えた「キリストのからだ」としての原点を見直し、祈り支え合うことで、各々が信仰の再確認につながれたと感じます。新教会名称や、生まれ変わった庄内伝道所をどのように活用していくかなど今後の課題があります。一人ひとり

の信徒が、不安や複雑な思いをもっていません。けれども新教会の色々な活動や働きを通して、神様の時に応じた導きに心から信頼を寄せて、お互いのために祈り合う共同体となれるよう、より励んでいきたいです。神様は、そのような私たちを心配してください。神様の導きは確かであると喜びをもって宣言したいです。新しい歌を主に向かって歌い、強め、助けられ、導かれますよう共に祈りたいと思います。

(2教会先行合併推進委員会トマス信徒)



4月3日大斎節第5主日新教会として初めての主日聖餐式を開催しました。磯 晴久主教の司式により、旧トマスと旧庄内の信徒68名が賛美と感謝の祈りを共に献げることができました。

お知らせ

- 東豊中聖ミカエル教会・庄内伝道所 電話・ファクシミリ番号変更になります。
- 4月1日より石橋聖トマス教会の電話番号(06-6854-8657)に集約されました。お間違えの無いようお願いいたします。

日本聖公会婦人会第27(定期)総会

日	時	6月15日～16日
場	所	ニューオオサカホテル 新大阪
開	会聖餐式	15日の13:00～
説	教	主教 ナタナエル 植松誠

大阪教区関係教役者 6月逝去者記念聖餐式

6月8日(水) 10:30~

- 3日 司祭 ロバート・マルコム・ミルマン (1945加)
- 4日 司祭 オーガスチン ^{あしざわ} 芦沢 ^{てるお} 光雄 (2002)
- 8日 司祭 チャールズ・フレデリック・ワレン (1899英)
- 10日 司祭 ウイリアム・ペンジェリー・バンコンブ (1942英)
- 11日 司祭 ジョージ・デンプシー (1960英)
- 13日 司祭 ダニエル ^{うえむら} 植村 ^{のぶひさ} 信久 (1980)
- 15日 司祭 ステパノ ^{はしもと} 橋本 ^{せつ} 節 (1915~1996)
- 16日 司祭 アーウィン・ヘンリー・コレル (1926米)
- 18日 伝道師 マルタ ^{かしうち} 榎内 ^{あきこ} 晰子 (1946)
- 19日 司祭 ベニヤミン ^{あずま} 東 ^{のぶゆき} 信行 (1943)
- 20日 司祭 ^{まきおか} 牧岡 ^{てつや} 鉄弥 (1854~1919)
- 22日 司祭 ルイス・パーキンソン・ヒル (1943英)
- 29日 宣教師 エデイス・メアリー・バーナウ (1944英)
- 主教 ^{よこた} 横田 ^{みちのぶ} 道信 (1946)
- 宣教師 アリス・マリアン・コックス (1949英)
- 30日 司祭 ヨハネ ^{あらか} 荒木 ^{ひさお} 久雄 (1988)
- 司祭 パウロ ^{みずたに} 水谷 ^{ひろひこ} 博彦 (1931~2008)

*教役者逝去記念聖餐式は、毎月第2水曜日午前10時30分から、川口基督教会で行われます。ご関係の有無にかかわらず、どうぞ自由にご参加ください。

大阪城南キリスト教会

初 陪 餐

メアリー 辻村 麻琴
(つじむら 4月17日)

受 洗

大阪城南キリスト教会

* 教区の後について、今後のプロセスについては、宣教局主導とし、常置委員会が共同で検討に当たる。

* 故ヤコブ宇野徹主教を偲ぶ会を教区主催の逝去記念式とする。日程は6月18日(土)13時、川口基督教会、説教は植松誠主教。

* 3名の教区神学生の実習について協議した。

* 韓国土ウル教区金頭昇(キムドゥスン)司祭の受入れについて協議した。今年度について教区との宣教協働者として契約する。

* 管理手当の削減について財務委員会での検討を依頼する。伝道所での管理手当はゼロとすることを、11月の教区会で議案提出する。庄内伝道所での管理手当は担当者との合意で不要とする。

拝として位置付ける。日程は2023年6月4日(日)とし、場所はプール学院とする予定。

逝 去 者

メアリー 辻村 麻琴 (4月17日)

堺聖テモテ教会

(4月7日・96歳)
ハンナ 堀 和子

大阪城南キリスト教会
(3月23日・81歳)
ペテロ 岡崎 俊雄

魂の平安をお祈りします

主教巡回予定(6月)

- 5日 堺聖テモテ教会
- 12日 富田林聖アグネス教会
- 19日 川口基督教会
- 26日 恵我之荘聖マタイ教会

お詫びと訂正

- 3頁 3段 聖トマスが抜けている
- 黙想会 3月21日(休日)
- 4ページ 米村司祭 誤1979→正1975年

お詫びして、訂正致します。

【常置委員会報告】 4/20 第9 定期

I. 主教報告及び諸報告

- * コロナ関連対応について、注意を怠らず各教会で現在の対応を継続する。
- * 来年開催予定の宣教協議会について管区の各委員会と話し合いを進めている。
- * 5/31(火)~6/2(木) 管区総会
- * 大阪聖パウロ教会でペンテア宣教会の神父の説教。
- * 4月1日付で、石橋聖トマス教会と庄内キリスト教会

【宣教局】

- ・ 教区成立百周年を含めた教区の今後の宣教について協議を始めている。
- ・ 各教会に「現状と将来」についての常置委員会合同のアンケートを配布する。
- ・ **【財政局】** 2年連続で中止となつた会計委員懇談会を今年は実施する方向
- ・ **【総務局】** 庄内伝道所設立の公示を出した。

【パウロプロジェクト】

- ・ 外部からの意見を聞くために、NPO専門家の島田恒氏の講演を予定。
- ・ **II. 協議事項及び主教諮問**
- * 大阪聖三一教会の建築について、他教会からの融資を受けやすくするため、教区融資金返済時期を遅らせることを承認した。
- * 今年の教区礼拝について、生野センター30周年記念礼拝との共同開催とする。10月10日(月・休)川口基督教会を予定。

